

学校規模適正化基本計画（案）に関する説明会 報告書（阿小学区）

- 1 日 時 令和8年5月17日（日）10：00～10：50
- 2 場 所 阿久津小学校 多目的室
- 3 出席者 16名（別紙受付名簿のとおり）
神林町長、坂本教育長、佐藤教育委員
学校教育課 福田課長、小林課長補佐、渡邊係長、日疋主事
- 4 内 容 開会后、町長挨拶、教育長から計画(案)の概要説明、学校教育課から今後のスケジュール等について説明、その後、質疑応答を行いました。

■質疑応答の概要

○質疑等1

- ・統合される学校の数は把握したが、具体的な統合の内容を確認したい。

(町長)

- ・中央小と北小を統合し、校舎は北小を使用します。

東小と上高小を統合し、校舎は東小を使用します。

(学校教育課)

- ・本日開催の阿久津小学区に直接関係する部分としましては、中央小学校の中学校区が分かれている課題に対して、今回の統合により進学後も同じ中学校で学べるよう、中央小のうち北中学区の児童は北小に、阿中学区の児童は阿小に分かれて統合する方法としています。

○質疑等2

- ・前回、令和5年度に公聴会を開催した際の説明と資料では、統合を令和8年度からとしていたと思うが、今回、令和10年度からの統合にずれ込んでいる。どのような検討経緯であったのか確認したい。

(学校教育課)

- ・前回の公聴会では、計画の素案として、4校から2校、2校から1校の段階的な統合方法と、4校から1校に1回で統合する方法の2つの方法をお示しし、皆様からご意見をいただきました。考えられる最短での統合スケジュールもお示していましたが、具体的な統合時期についてはご意見をいただきながら決めていくこととしていました。

その後、教育委員会内部で統合方法についての協議を進め、今回は、段階的な統合をまずは早急に行う必要があることから、計画(案)としてとりまとめ、説明会として開催しています。

- ・前回の素案でも、教育委員会では段階的統合方法を考えていると説明をしていたと思うが、町としての準備検討事項に関して、時間を要したとの解釈でよろしいか。なぜ2年間遅れたのか分からないので、質問したもので、

(教育長)

- ・どちらの方法がよいのか詳細に検討するのに時間がかかりました。近隣市町の統合経緯を踏まえると、学校の統合再編は大変難しい課題であるとの認識を持っていましたので、丁寧に慎重に進める必要があると考えたところです。統合するにあたり、どのような配慮事項や整備が必要か、塾考したため、時間を要しました。

前回は公聴会として開催し、皆様の意見をいただき、素案をブラッシュアップする目的でしたが、今回は説明会として開催し、教育委員会としてとりまとめた計画(案)をお示しています。今回いただいた意見を踏まえ、必要な部分は計画に肉付けしていきたいと考えております。

○質疑等 3

・長男が中央小に通っている。統合で中央小から阿小に移動する場合、阿小に吸収されるイメージがあるが、子どもたちのケアをどのように考えているのか。

(教育長)

・中央小学区の石末地区・大谷地区の子どもたちの心のケアについては、特に配慮しなければならないと認識しています。統合する前に、子どもたちや保護者の交流の場を設けるなどの対応を考えています。

・交流については、どれくらいの期間でどの程度行う予定か。また、土日に行うのか、平日に行うのか。

(教育長)

・時期や回数などについては、統合準備検討組織の中で決めていきたいと考えています。令和9年度の交流内容については、前年の令和8年度に決めていくこととなります。また、学校の教育活動の一部として平日に実施することを考えています。

○質疑等 4

・現在、クラス替えの時期は2年に一度となっている。阿小に統合された場合、クラス替えについてどうなるのか。クラス替えをどうするかはいつ頃決定するのか。

(教育長)

・クラス替えについては、最終的に学校が判断することになります。教育委員会と学校とで相談の上で、どのようにするか決めていくことになると思います。令和10年度からの統合に向け、前年の令和9年度のどこかのタイミングで決定することになります。

(記録者：渡邊)